

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	074
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		日本フィルとの友好提携事業の実施	38	回	16,838
		杉並公会堂利用料の支出(延べ日数)	70	日	12,674
		文化・芸術活動への助成	17	件	8,490
		アーカイブ事業の実施	3	件	7,807
		その他(情報紙の発行ほか)			16,716
(2) 事業実績	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、日本フィル、杉並公会堂、区の3者による実行委員会形式の演奏会「日本フィル杉並公会堂シリーズ」を4回、そのほか、公開リハーサルを4回、学校への出張音楽教室を10回開催するなど計38回の演奏会等を実施しました。</p> <p>文化・芸術活動への助成では、文化芸術活動事業16件、企画提案事業1件に対して助成を行いました。また、杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動の軌跡を、区の貴重な文化財産として記録・保存し、後世に伝えることを目的としたアーカイブ事業では、3作品を制作しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査(H20) 地域文化の振興施策 評価できる=7.9% 要望が高い=6.3%</p> <p>区民意向調査(H29) 地域文化の振興施策(文化・芸術の振興) 評価できる=10.6% 要望が高い=6.7%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、杉並公会堂におけるコンサートや区役所ロビーコンサートなどの提携事業を行いました。特にロビーコンサートは、事業が定着してきたこともあり毎回多くの観客で賑わっていました。</p> <p>日本の「古典」について、子どもたちが気楽に参加し、体験できる事業として「こども伝統芸能おもしろ体験」を実施しました。平成29年度は「落語」及び「紙切り」の公演を行い「親子共々楽しめた。」「機会があったらまた参加したい。」などの感想をいただきました。</p> <p>アーカイブ事業では映像をYouTube上に掲載するよう変更しました。これにより区公式ホームページを経由することなく閲覧が可能となり、多くの方に映像をご覧いただいています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、杉並公会堂におけるコンサートや区役所ロビーコンサートなどの提携事業を引き続き行うことで、音楽によるより豊かな区民文化が創造されています。また、ふるさと納税制度を活用した「日本フィルの被災地復興支援活動」を応援し、音楽を通じ被災地に希望を届けます。</p> <p>平成29年度に文化・芸術振興審議会を取りまとめた「オリパラに向けた文化プログラムの取組」を受けて、文化・芸術活動への支援を積極的に展開し、オリパラ後もその成果を礎に、より豊かで創造的な区民の文化・芸術活動が広がっています。</p>			
評価と課題	<p>文化・芸術振興審議会では、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組」を取りまとめ、レガシー(未来へつなげる感動や体験)の創出に向けての指針を示すことができました。</p> <p>また、日本フィル友好提携事業として杉並公会堂におけるコンサートや区役所ロビーコンサートを実施するなど、多くの区民に優れた文化・芸術に触れることができる機会を提供することができました。</p> <p>平成30年度は3年に1度の文化芸術活動助成金事業見直しの年であるため、助成事業の運用状況を評価・検証し、更なる充実に向けた検討をしていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度は、文化・芸術振興審議会にて「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組」を取りまとめ、レガシー(未来へ繋がる感動や体験)の創出に向けての指針を示すことができました。平成30年度は、この指針を踏まえ、レガシーの創出に向け具体的な文化プログラム支援に取り組むとともに、文化芸術活動助成事業募集要項の見直しも図っていきます。</p> <p>また、区民が文化・芸術に親しむことができる機会の創出を目指し、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業や古典の日に係る事業等を引き続き実施していくとともに、文化・芸術活動に関する情報の収集・発信を効果的に行うため、アーカイブ映像や文化・芸術情報紙「コミュかる」の積極的な活用に取り組んでいきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00073)

事務事業名称 杉並芸術会館の維持管理			款 03	項 01	目 03	事業 003	整理番号 079				
現担当課名 文化・交流課		係名 文化振興担当係		連絡先電話番号 3782		昨年度整理番号 078					
上位施策No・施策名 30 文化・芸術の振興						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成15年度									
	平成29年度担当課名	文化・交流課		事業評価区分 一般							
	対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立杉並芸術会館条例 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図ります。区民との協働により施設を運営し、地域の賑わいの創出など、地域の振興を図ります。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数=稼働可能数 芸術文化普及振興事業の実施延べ回数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を企画・企画する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	ホール利用率 ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数÷稼働可能数 芸術文化普及振興事業への参加者数 公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標(1)	1	回	2,015	2,010	1,990	2,010	2,012	2,010	100.1	
	活動指標(2)	2	回	511	550	478	550	476	550	86.5	
	成果指標(1)	3	%	85	80	87	80	83	80	103.8	
	成果指標(2)	4	人	74,000	80,000	60,000	80,000	64,000	80,000	80.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	282,049	334,297	327,980	307,579	303,429	350,570	平成29年度 予算執行率(%) 98.7	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	264,300	303,962	303,777	286,551	286,383	328,649		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.73	1.50	1.59	1.50	1.55	1.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,132	13,121	13,614	12,843	13,316	12,887	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	297,181	347,418	341,594	320,422	316,745	363,457		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	147,484	172,845	171,655	159,414	157,428	180,824		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	10,247	15,279	9,167	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	900	500	500	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	11,147	15,779	9,667	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	286,034	331,639	331,927	320,422	316,745	363,457		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	079	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（指定管理者）				
		芸術監督報酬の支出		12	月	4,200
		運営懇談会開催		3	回	388
		施設管理		12	月	2,783
		その他（地域協議会開催ほか）				48
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>指定管理制度により、芸術監督の監修のもと年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、区民等への施設の貸出業務や保守管理業務等、施設の維持運営を行いました。芸術文化普及振興事業の充実並びに施設の適正な運営及び管理を図ることを目的として、運営懇談会を開催し、これまでの実施・運営状況について広く意見を求めました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>高円寺会館建替えにより新たに劇場機能など芸術文化振興の拠点施設という機能を盛り込んだ施設として、杉並芸術会館を整備しました。運営は、開設当初から指定管理者制度を導入し、現在、NPO法人劇場創造ネットワークが指定管理者となっている（二期目）。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>小劇場（座・高円寺1）や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール（座・高円寺2）、阿波おどり利用を優先した阿波おどりホール等を有し、多くの人々が集い、新しい時代の個性的な芸術文化施設として、地域住民や区内他地域、文化関係者から高い関心と期待が持たれています。また、高円寺4大祭りへの会場提供運営協力を行い、高円寺地域に密着した劇場として高円寺地域の賑わいの創出に大きく寄与しています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>座・高円寺2、阿波おどりホールともに利用率は高く、地域住民や文化関係者からの高いニーズが伺えます。引き続き、多くの人々が集う、個性的な芸術文化施設として、地域に根差した活動に取り組んでいきます。平成31年には開館10周年を迎えるため、これまでの活動を総括したうえで、優れた舞台芸術の発信、区民への多様な文化活動の場等の提供、そして地域と密着した区民の文化芸術活動の拠点として、地域の活性化にも取り組んでいます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、杉並の文化芸術を広く国内外へ発信していく中心としての役割も担っていきます。</p>				
評価と課題		<p>指定管理者が持つネットワークを活用し、幅広いラインナップの主催事業を行うことで、区内のみならず区外からも人が集まり、劇場として高い評価を得ています。また、高円寺4大祭りへの運営協力や、地元商店街との協力関係の下「座の市」を開催するなど、高円寺地域の賑わいの創出に大きく寄与しており、地域に密着した芸術文化活動の拠点として確実に成長しています。一方、総合戦略の指標となっている「来館者の高円寺地域での買物率」としては52%と前年比-5%であり、フリーマガジンの発行・配布等の取組が買物率に反映していない結果となりました。地域への来館者の還流の視点から取組を検証するとともに、よりの確かな数値把握方法についても検討することが課題です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地域の文化拠点として本施設ならではの良質な事業を提供していくため、引き続き、国の「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」補助金や「宝くじ助成金」を活用していきます。また来年度は開館10周年となるため、それを記念し、これまでの取組や、今後の展開について積極的に発信していきます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00075 ）

事務事業名称		杉並公会堂（PFI事業）			款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	081		
現担当課名		文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	080				
上位施策No・施策名										30 文化・芸術の振興		予算事業区分			投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成18年度														
	平成29年度担当課名	文化・交流課			事業評価区分										施設維持管理	
	対象	区民、文化・芸術団体			根拠法令等	(1)		民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律								
						(2)		杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていきます。			活動指標	指標名（1）		自主事業実施回数								
					指標名（2）		ホール・スタジオ等の利用件数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。公演など自主事業を行うほか、区民が気軽にご利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を行う。			成果指標	指標名（1）											
					指標名（2）											
					指標説明											
区分	単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
		実績	計画	実績	計画	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	回	33	43	43	35	33	38	94.3						
	活動指標（2）	2	件	23,916	25,000	24,223	25,000	23,992	25,000	96.0						
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	943,888	871,884	871,064	786,213	785,523	809,939	平成29年度 予算執行率(%)	99.9					
	（内）投資的経費等	6	千円	943,888	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	943,888	871,884	871,064	786,213	785,523	809,939							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.55	0.50	0.53	0.50	0.52	0.50						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,811	4,374	4,538	4,281	4,467	4,296						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	948,699	876,258	875,602	790,494	789,990	814,235							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	145,788	20,378,093	20,362,837	22,585,543	23,939,091	21,427,237							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	948,699	876,258	875,602	790,494	789,990	814,235							
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 081

平成29年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設サービス購入	2	回
(1) 主な取組	維持管理・運営サービス購入	4	回	417,699
	その他（事業連絡会費ほか）			40
(2) 事業実績	PFI事業として杉並公会堂施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支払いました。 また、区、日本フィル及び公会堂の三者による実行委員会方式の協働事業である日本フィル杉並公会堂シリーズを4回行うなど、計33回の自主公演を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	区民の文化・芸術活動や多様な活動の場を提供するとともに、共催事業を含む自主事業を29年度も33回開催するなど、引き続き積極的な運営を行っています。 30年度も引き続き、杉並の文化の拠点として、より多くの区民が優れた文化・芸術を運んでいただくことができるプログラムの提供や環境の整備に取り組んでいきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		